

富山高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	総合国語 I B	
科目基礎情報							
科目番号	0008		科目区分	一般 / 選択			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	商船学科		対象学年	1			
開設期	後期		週時間数	2			
教科書/教材	「言語文化」(大修館書店)						
担当教員	岡部 寛子,久保 陽子						
到達目標							
内容・構成・展開など叙述に即して的確に捉える。作品に表れるものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈する。古文や漢文の表現に触れ、日本文化・文学への理解を深めるとともに、言語文化について自分自身の考えを持ち、論理的に発表したり、書いたりすることができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	義務教育レベルの漢字を読み書きできる。		義務教育レベルの漢字を8割以上読み書きできる。		義務教育レベルの漢字を8割以上読み書きできない。		
評価項目2	古文・漢文を含め文学作品を読解することが十分できる。		古文・漢文を含め文学作品を読解することがある程度できる。		古文・漢文を含め文学作品を読解することができない。		
評価項目3	作品に対する考察が十分にでき、それを自分の言葉できちんと表現できる。		作品に対する考察ができ、それを自分の言葉で表現できる。		作品に対する考察ができず、それを自分の言葉で表現できない。		
学科の到達目標項目との関係							
MCCコア科目							
教育方法等							
概要	古典を含む文学的な文章を扱いながら、国語の総合力を養っていく。作品の読解を通して、自分の生きる社会や文化について考えを深めていく。また古典を含む文学作品に親しみ、解説・解釈するだけでなく、自らの考察をレポートに書いたり、発表したりできるようにする。						
授業の進め方・方法	義務教育レベルの漢字については、毎時、小テストを実施し、読み・書きの定着を図る。教科書の内容については基本的には講義形式だが、音読や調べ学習、発表等、受講生から積極的な参加をうながしたい。 (授業外学習・事前) 授業内容を予習しておく。 (授業外学習・事後) 授業内容に関する課題を解く。						
注意点	受け身ではなく、積極的に授業に参加してほしい。授業内容については、状況に応じて受講生と相談のうえ変更する可能性もあるのでご了承ください。 本科目では、50点以上の評価で単位を認定する。評価が50点に満たない者は、願い出により追認試験を受けることができる。追認試験の結果、単位の修得が認められた者にとっては、その評価を50点とする。						
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	オリエンテーション		古典における音読の重要性を確認し、実際に音読してみる。		
		2週	古文 1－1 －兎のそら寝		音読を通して、作品の大意を理解し、説明できる。		
		3週	古文 1－2 －兎のそら寝		内容・構成・展開などを叙述に即して的確にとらえる。		
		4週	古文 1－4 －兎のそら寝		古文の文法や発音や単語の意味を理解できる。		
		5週	古文 1－1 －古文に親しむ(絵仏師良秀／阿蘇の史、盗人にあひてのがること)		音読を通して、作品の大意を理解し、説明できる。		
		6週	古文 1－2 －古文に親しむ(絵仏師良秀／阿蘇の史、盗人にあひてのがること)		内容・構成・展開などを叙述に即して的確にとらえる。		
		7週	古文 1－3 －古文に親しむ(絵仏師良秀／阿蘇の史、盗人にあひてのがること)		言語文化について自分の考えをもち、表現する。		
		8週	後期中間試験		既習事項の確認と定着を図る。 自身の学習の仕方を点検する。		
	4thQ	9週	漢文 1－1 －論語・孟子		返り点や送り仮名などの基礎を確認する。		
		10週	漢文 1－2 －論語・孟子		再読文字などの基礎を確認する。		
		11週	漢文 1－3 －論語・孟子		主な助字の種類と用法について理解し、説明できる。		
		12週	漢文 2－1 －蛇足		内容・構成・展開などを叙述に即して的確にとらえる。		
		13週	漢文 2－2 －蛇足		漢文の作品読解を通して、故事成語の成り立ちを理解し、説明できる。		
		14週	漢文 2－3 －蛇足		言語文化について自分の考えをもち、表現する。		
		15週	期末試験		これまでの復習と定着を図る。		
		16週	期末試験の解答・復習		答案返却。自己の学習到達度を知る。		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	0	20	100
基礎的能力	60	0	0	0	0	20	80
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	20	0	0	0	0	0	20